



KEIO SPORTS SDGs は、慶應義塾のスポーツ・運動・身体活動を担う専門部門と関連部門の横断型連携プロジェクトです。

スポーツ活動、レクリエーション活動、一部の生活活動（通勤を兼ねたウォーキングなど）を含む様々な身体活動を広義の“スポーツ”と捉えて促進する活動を行い、スポーツの力を活用して SDGs の達成に貢献することを目指しています。

## 1. アカデミーヒルズとのコラボイベントのお知らせ

六本木ヒルズ・森タワー49 階のアカデミーヒルズとのコラボイベント（オンサイト）を 3 回に渡って開催します。

スポーツを活用して「個人（第 1 回）」「組織（第 2 回）」「地域（第 3 回）」を元気にすることが SDGs に貢献することを理解し、実践していくことを目標にしています。

### 第 1 回「ウェアラブルで測れるモノ・コト」

～ウェルビーイングを支えるスマートデバイスの実力～

#### 【日時】

2023 年 9 月 19 日（火）19:00～21:00

#### 主な内容

- ① 講義 19:00～19:20 身体活動不足の問題、GAPPA について  
慶應義塾大学スポーツ医学研究センター・大学院健康マネジメント研究科准教授  
小熊祐子先生
- ② 講義 19:20～20:00  
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科兼環境情報学部教授 仰木裕嗣先生

私たちが肌身離さず持ち歩くスマートフォンをはじめとしてスマートウォッチなど、ウェアラブルデバイスの進化は今世紀に入って目覚ましいものがあります。本人が気付かないことを教えてくれるウェアラブルデバイスは、今や健康であり続けることを支えるだけでなく、事故や事件を検知することも可能となり、現代人にとっての生活基盤を支えるツールとなりつつあります。

ヒトは自分自身を知りたいという純粋な欲求がある一方、知りたくないという本音も見え隠れします。ウェアラブルデバイスで測れるモノ・コトと、測れないモノ・コトをきちんと

知っておくことは、自分自身のウェルビーイングに貢献する可能性をもちます。

特許庁が令和元年度に行った特許出願動向調査「スポーツ関連技術」では、調査委員会の委員長を務めた仰木教授から、広くウェアラブルをはじめとする世界動向を調査した結果もご紹介いたします。

- ③ 質疑応答・休憩 20:00～20:20
- ④ 測定・ミニワーク 20:20～21:00

**【参加方法】**

参加料：一般 3,300 円（税込）※アカデミーヒルズライブラリーメンバー：無料

下記ヒルズアカデミーのサイトよりお申し込みください

<https://www.academyhills.com/seminar/detail/20230919.html>

## 2. KEIO SPORTS SDGs 勉強会のお知らせ

KEIO SPORTS SDGs は奇数月の第 3 木曜日に無料にて勉強会（オンライン）を開催しています。

**【日時】**

2023 年 9 月 22 日（金）17:30～19:00. ※今回は特別開催とし、定例の開催日程と異なります

**主な内容**

- ①講義 17:30～18:00

**【テーマ】** 慶應高校甲子園優勝の裏側～スポーツ科学の力～

**【演者】** 慶應義塾大学体育研究所 稲見崇孝先生

**【内容】**

107 年ぶりの甲子園優勝に沸く慶應義塾高校。この快挙を支えたものとして、「スポーツ科学」がある。慶應義塾大学体育研究所「スポーツサイエンスラボ」が行った支援について、日々のコンディション管理や、試合が終わるたびに行われた森林監督や学生コーチとの打ち合わせなど、その実際について詳しくお話いただきます。

- ②質疑応答 18:00～18:30
- ③実施報告 18:30～19:00

- ・オンラインラジオ体操の開催報告（KEIO SPORTS SDGs 伊藤より）

**【参加方法】**

下記からお申し込みください。参加者には改めてオンラインの URL をお送りいたします。

<https://forms.gle/FXoA415uYMQFztQ68>

### 3. 共同研究等のご相談

KEIO SPORTS SDGs では上記のほか、ご賛同いただける企業様、共同研究等ご一緒できる企業様を募集しています。詳細は [keiosportssdgs@gmail.com](mailto:keiosportssdgs@gmail.com) までお問合せください。